

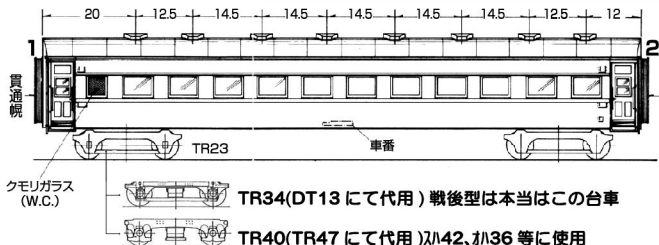
113

国鉄客車 オハ35 形

戦後型(半切妻) 2両セット

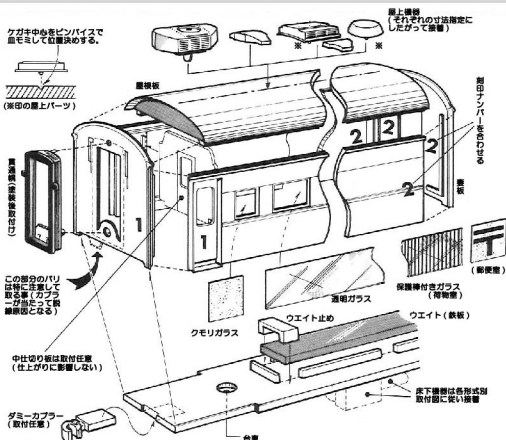
GREENMAX

板状未塗装キット・客車シリーズ



別売アイテム

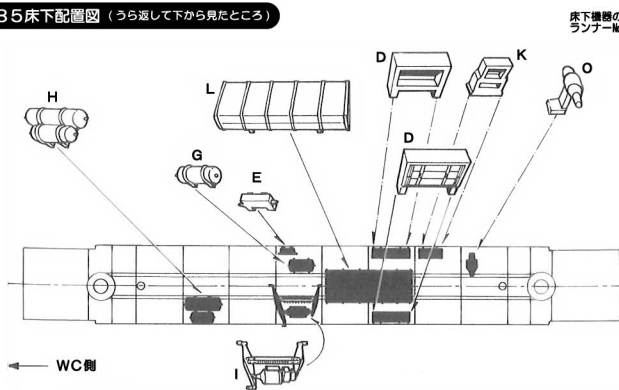
- 台車 #5024:TR23
 - 車両マーク #6310:客車 座席車(白)
- ### カラーガイド
- ボディ ②または⑦
 - 屋根 ③または④
 - 屋上機器 ⑨
 - 床下 ⑩



組立基本図

まず、左右側板、前後妻板、屋根板をすき間の出来ない様
注意して組み立て、四角い箱状にします。側板、妻板の細み
合わせには「向き」があるので、モールド裏の1,2の刻印ナ
ンバーを合わせる様接着して下さい。
屋根板に一体モールドの屋上機器のある食堂車群や一部環
台車(オロハネ10)、クローラ六のあいている形式(冷房低
屋根グリーン車や81系、オロ14等)では屋根板にも前後
の「向き」があるので、各形式の側面図とよく見くらべてま
ちがえない様に組み立て下さい。その他の形式ではそれぞ
れの寸法指定に従って各自クガキのうえ、ベンチレーター等
の屋上機器を正しい位置に接着します。
B台車(台車のクローラや送風ドーム(各ハネに付属)はパ
ーツ裏に突起があり、そのまま接着すると屋根板から浮き
上がってしまうので、これはクガキ線中心にピンバイス等
で小穴をささってそこから突起をはめ込み、位置決めを正確に
する為のものです。
各パーツの取り付けが終わったら、内側から少量のゴム系
接着剤を用いて各マドガラスを取付けます。マドガラス(指
差しシート)は現物合わせで長さをカットし、ひだり側板裏
の凹部にはまる様調整して下さい。最後に黒色フラ製貫通扉
を両妻板に取付け、上廻りは完成(スロフ81形のバックサ
インのある側のみ省略)。デッキと客室間の「中仕切り板」
が付いている形式もありますが、このパーツの使用は任意(客
室内装置を作る人以外あまり意味はありません)。床板は上面
に鉄板フェイを2枚のウェイト止めを固定。下面(台枠リ
フ彫刻のある側)にはそれぞれ図に示された床下機器を接着
のうえ、前後をまちがえずに車体にはめ込み固定します。
床下機器の内J(トイレ流し管)やO(電動発電機)は台車
にぶつからない様特に注意。ダミー自連パーツは編成最後
の車両に用いて効果があります。床下、屋上パーツには余剰
部品が出る事が多いので、大切にっておくと改造作品等に
有効に利用できるでしょう。

●オハ35床下配置図 (うら返して下から見たところ)



アフターサービスはこちらへ

万一が思いがけぬ製品に不具合がございましたら
お気軽に弊社の販売店または、グリーンマックス修理係
にご相談ください。

グリーンマックス修理係
042-774-8355

受付時間: 平日10~13・14~17時
(土・日・祝日は休業)

送付先

〒252-0212
神奈川県相模原市中央区宮下2-19-5